

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」  
平成28年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成29年 3月17日(金)発行 第 47 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 第70回 節目の卒業式



3月13日(月)第70回目の卒業証書授与式を行い、卒業生4名に卒業証書を授与しました。

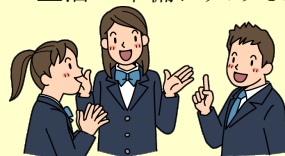
式には、一人一人の生徒が、三年間のいろいろな出来事や感動を胸に、来賓の方々の祝辞や送辞・答辞をかみしめながら、義務教育の集大成にふさわしいしっかりとした態度で式に臨んでいました。

1, 2年生も西山中学校の伝統を引き継ぐ者としてふさわしい態度と卒業生への感謝の気持ちを込めた式歌で参加することができ、感動的な卒業式になりました。

### 晴れて正式合格

県立高校の合格発表が14日に行われ、すでにI期試験で内定を得ている卒業生4名の正式合格が決まりました。4月からは晴れて高校生となります。

15日には4人がそろって、改めて合格の報告に来てくれました。これから制服の採寸をしたり、教科書をそろえたりと、新しい生活の準備に入ります。一番楽しい時期かもしれません。



# 小学生に読み聞かせをしました

15日、1年生の4名が小学校に出向き、低学年の小学生に絵本の読み聞かせをしました。

読み聞かせは単なる音読と違います。音読は表現力も読解力も発音技術も必要としない、ただ声を出して文章を読むことです。

一方、読み聞かせや朗読には「感情をこめて読み上げる」という意味あいも含まれます。特に幼児や小学生の低学年に読み聞かせをする場合には、単に読み上げるだけではすぐに飽きられてしまいます。ここにこの取り組みのねらいがあります。

15日の読み聞かせでは、4人それぞれが声の抑揚や大きさに注意しながら大変上手に読み聞かせることができました。

小学校の校長先生からは「これからも継続的にやれるといいですね。子どもたちも楽しそうでした。」というお話しをいただきました。ぜひ続けたい取り組みです。



## 読み聞かせを終えて

渡部 美空

少し緊張したけど、2年生が楽しそう鬼聞いてくれたのでよかったです。練習した成果が出ました。小学生の時に図書委員で読んだけど、そのときよりも上手に読めたのでよかったです。小学生の時は聞く側だったけど、中学生になって読む側を体験できたのでよかったです。来年もまた読み聞かせをしたいです。

## 読み聞かせを終えて

渡部 寿々帆

少し緊張したのですが、練習したことを生かして読むことができました。2年生がしっかりした態度でお話を聞いてくれたので、とてもうれしかったです。小学生の時に読み聞かせをしてくださった人たちは、緊張していたかもしれないけど、しっかり読んでくださったんだなあと改めて感じることができました。とてもよい経験ができました。またやりたいなと思いました。

## 読み聞かせを終えて

渡部 未蘭

思ったよりも緊張しましたが、1年生が楽しそうにしてくれたのでよかったです。小学生の時は読み聞かせをされる側だったので、中学生になって読み聞かせをする側の経験ができたのでよかったですと思います。来年も読み聞かせをしたいです。

## 読み聞かせを終えて

金子 花

少し緊張しましたが、1年生が楽しそうに笑ってくれたので、私たちも楽しく読むことができました。初めて読み聞かせをして、今まで私たちに読み聞かせをしていてくれた人たちは、こんな気持ちなんだと知ることができました。1年生が楽しかった、また聞きたいと思ってくれたらいいです。今回は絵本だったけど、紙芝居なども読みたいなと思いました。また、1、2年生だけでなく、3、4年生にもその学年にあった読み聞かせをしたいなと思いました。本当に楽しかったです。

